

## 活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ懇談会(もりこん) 1 4 4		
タイトル	① アサヒの森の取り組みについて ② 住友林業の取り組みについて		
実施日時	平成29年5月18日(木) 18:45~20:45		
実施場所	船橋中央公民館第2集会室		
受講者	8名	FIC会員	6名

### 活動の内容

講師は千葉県森林インストラクター会の森田さん(アサヒビール)と富永さん(住友林業)のそれぞれの会社のCSR活動を中心とした取り組み、林業の現状などを交えお話しいただいた。

#### ① アサヒの森の取り組みについて

始まりは1941年に第二次世界大戦の影響でコルクの輸入が途絶えることを危惧し、ビール瓶の王冠に使用するコルクの代用品としてアベマキの樹皮が候補となり、それらが多く自生する広島県の山林を購入したことにあった。

結果的にコルクの代用品として使うことは無かったが、自然林を残しながらヒノキ・スギの植林を始め森づくりに情熱を注ぐこととなった。

そして現在では持続可能な森林経営と生物多様性に配慮した森づくりを目指し成果を上げている。またこのアサヒの森では地元の子供から大人まで、また自社や関係取引先の環境教育などにも力を注いでいる。こうした森林整備やCSR活動は有識者から非常に高い評価を受けている。

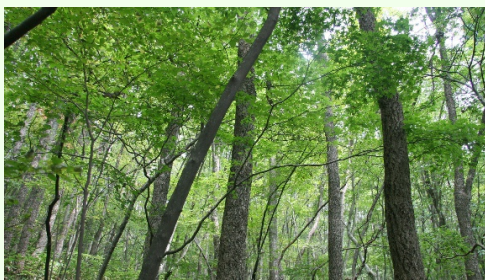
#### ② 住友林業の取り組みについて

愛媛県の別子銅山の森林回復が会社の起源で1894年に「大造林計画」を立てた。

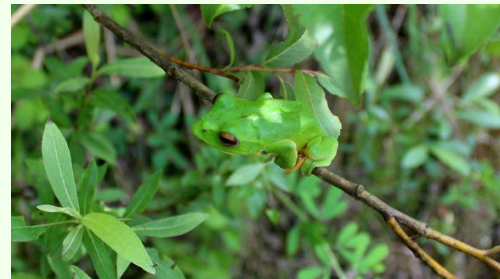
また、現在では国土の約1/900を占める社有林を持ち、「生物多様性に関する基本方針」に基づき管理している。

林業経営のノウハウを活かし地方の林業活性化のためのコンサルタントなども積極的に取り組んだり、合板技術の進歩に伴う国産材など、無駄をなくす有効活用にも力を入れている。

環境事業として木質バイオマス発電も国内3か所ですでに稼働しており今年中には4か所目も稼働予定でこれも地方活性化にも寄与している。台風による山林崩壊からの再生プロジェクトとして富士山「学びの森」で社会貢献活動をしている。



アサヒの森「アベマキ」の林



アサヒの森「モリアオガエル」



住友林業、富士山「学びの森」



住友林業「木質バイオマス発電」